# 揖斐郡

# 教育研修センターのあゆみ
















令和8年度　揖斐郡教育研修センター

# 揖斐郡教育会・揖斐郡教育研修センターの沿革

## 揖斐郡教育研修センターの沿革及び揖斐郡内の教育動向

**(昭和 22 年～)　　揖斐郡愛郷会発足**

揖斐郡教育振興会の前進である揖斐郡愛郷会が発足する。
文集「ながれ」初版発刊

**昭和 24 年**(1949.4～)　**揖斐郡教育研究所設遇、事務所を揖斐地方事務局におく。**

**昭和 25 年**(1950.4～)　**揖斐郡文化連盟設立**

**昭和 26 年**(1951.4～)　**揖斐郡教育振興会発足**

**昭和 27 年**(1952.4～)　**揖斐教育研究所廃止(教育の正常化の渦の中、所員を引き上げる)**

**昭和 31 年**(1956.4～)　**揖斐郡教育振興会の規約ができ、同日より施行する。**

［目的］本会は、学校•社会の両面にわたって、郡教育の振興を図ることを目的とする。
［事業］1.教育の資質向上を図るための研修
2.教育内容の充実を図るための研究会、講習会等の開 催並びに助成
3.社会教育指導者の資質向上を図るための研修
4.社会教育の向上を図るための研究会、講習会等の開催並びに助成
5.視聴覚教育振興のための研究
6.その他、郡教育向上のための諸事業




**昭和 32 年**(1957.4～)
社会科副読本「ふるさと揖斐」発刊
郷土教材の研究進む　昭和 30 年度～31 年度にかけて編集
運営委員：郡教育振興会長以下 11 名 編集委員： 30 名

**昭和 46 年**(1971.4～)　**揖斐郡教育工学研誕生**

**昭和 48 年**(1973.4～)　**揖斐郡教育会設立(学校教育部、社会教育部)**

**昭和 49 年**(1974,4～)　**揖斐郡教育会の規約ができ、同日より施行する。**
**揖斐郡教育会学校教育部が発足し、細則ができ 同日より施行**

○揖斐郡教育会規約より
［目的］本会は、学校教育、社会教育の両面にわたって、本郡教育の推進を図ることを目的とする
［事業］
1.教育に関する専門的技術的事項の研究および調査
2.教育実践に関する調査研究
3.教育に関する各種資料の作成、収集、刊行および配布
4.学校教育の内容充実を図るための研修並びに研究会、講習会等の開催
5.社会教育の推進発展を図るための研修並びに研究会、講習会等の開催
6.その他、本郡教育の振興のための諸事業
○揖斐郡教育会学校教育部の細則より
［事業］
1.教育推進に関する研究調査並びに資料の作成
2.教育関係職員の研修並びに実践交流のための諸事業
3.児童生徒の文化事業
4.教育関係諸団体に対する助成事業
5.その他、本会の目的を達成するために必要な事項

**昭和５２年**(1977.4～)
中小 FBC 花壇優秀賞受賞
北方小東海三県学校図書館表彰(奨励賞)受賞
中 小東海三県学校図書館教育奨励賞(部門優秀貧)受賞 宮地小 全日本よい歯の学校歯の優良学校県 1 位表彰 〃　　学校環境衛生活動優良校県 1 位表彰
養基小全日本よい歯の学校歯の優良学校県 1 位表彰 〃　　学校環境衛生活動優良校県 1 位表彰
北部 4 村中学校合同修学旅行を行う(関東方面)

**昭和 54 年**(1979.4～)

「揖斐川」発刊　昭和 51 年度～53 年度にかけて編集

運営委員：郡教育会長以下延べ 14 名

企画委員：担当校長以下 4 名

編集委員：担当校長以下　12 名

庶務•会計：担当校長以下 5 名　　編集執筆：8 名




**昭和 58 年** 2 月　　**「道」発刊**

昭和 56 年度～57 年度にかけて編集

運営委員：郡教育会長•郡教育会長以下 10 名

企画委員：担当校長以下 3 名

庶務•会計：担当校長以下 4 名

編集委員：担当校長以下延べ 19 名




**昭和６２年**

揖斐郡教育研修センター時代(昭和 62 年～)

**揖斐郡教育会学校教育部を揖斐郡教育研修センターと改称**

○ 揖斐郡教育研修センターの事業、研修より

［事業］

1.教育に関する専門的研究および調査、研究会、講習会等の開催

2.教材の開発および資料の収集、発刊、配布

3.児童生徒を対象とする文化事業

4.社会教育、幼児教育の発展振興を図るための研究会、講習会の開催

5.その他、揖斐郡教育の振興のための諸事項

**昭和 63 年**(1988.4～)

**揖斐郡教育研修センター事務局を揖斐郡青年の家から揖斐川町中央公民館に移す。**

**これまでの一般教諭による研修員を、**

**教頭職による研修員として配置し、**

**一般教諭 3 名を一週間に 0.5 日揖斐郡教育研修センターで勤務させる。**

「いびの地名」発刊




**平成 3 年**（1991）「ふるさとの地名」発刊



**平成 5 年**(1993.4～)　**研修員が 2 名になる。**

**1 名は教頭職。1 名は一般職**

(一週間に 0,5 日勤務者 3 名の分)

**平成 7 年**(1995.4～)　**郡教研セ情報教育研究会を組織し、研究調査員を委嘱する**

**センターの充実(建物、人的配置)を教育長会で検討**

揖斐郡教育研修センターの整備が「第三次揖斐地域広域町村圏計画(後期基本計画)」(揖斐地域広域行政組合)に位置づく。

**平成 8 年**(1996.4～)

**揖斐郡各町村に、揖斐郡教育センターの整備•充実について要望書を提出し依頼する**

(揖斐郡教育長会、揖斐郡校長会 揖斐郡教育研修センター)H8.4.25

平成８年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業

（1）研修センター組織　　所長　次長　研修部長　嘱託部主任　嘱託部員　研究調査主任　研究調査員　事務職員

（2）郡教育会理事会　　郡地教連絡協議会長　郡教育長会長　郡校長会長　郡幼稚園長会長　郡婦人会長　郡公民館会長　郡社教職連会長　郡教育研修センター所長

（3）事業　　ふるさと見学会　　自然に親しむ会　　科学作品展　　図工美術作品展　読書感想文コンクール　　教育相談　　実践論文　　郡教育研究総会　研修会（教務主任・保健主事・教育研修員・幼児教育・初任者）　実技研修講座（書写・コンピュータ・ボランティア・絵画指導・理科実験技能講座）

## 平成９年(1997.4～)　新揖斐郡教育研修センター時代

揖斐郡教育研修センター移転の陳情

揖斐川町に対して、揖斐郡教育会会長•郡町村教委連絡協議会会長•郡教育長会会長•同副会長•郡小校長会会長•郡中校長会会長、揖斐川町教育長•郡教育研修センター所長等が、揖斐郡教育研修センター移転の陳情を行う。

＜7 月 23 日＞

臨時研修センター運営委員会を開催し、センターの移転について検討•現地下見をする。

このころより、移転の関係機関との連絡•備品工事費積算　見積り•改装計画•移転計画等作成

郡教育長会で現地下見をし、提案を行う

＜8 月 25 日＞

揖斐郡町村会に研修センター移転の件•補正予算•規約改正案提出

＜8 月 27 日＞

内部改装工事始まる(東出入り口、間仕切り、　壁クロス張り、電話、暗幕等)

＜　8 月 29 日＞

保守管理委託契約•センター管理規則案•移転　開所式案•移転挨拶文等作成。

＜9 月 16 日＞

移転準備•荷造り、新施設の展示パネル制作•リーフレット制作をする

センターの概要紹介のためのプレゼンテーション作成準備

＜　9 月 22 日＞

郡教育会臨時理事会を開催し、センターの移転について検討•現地下見をする

＜9 月 24～26 日＞

揖斐川町の先生•センター運営委員の先生方の協力を得て、引越し作業を実施する。

＜9 月＞

揖斐川町と揖斐郡教育会と揖斐郡教育研修センターの施設賃貸契約をする。

(旧揖斐郡農業共済組合事務所の独立家屋を賃貸借用。鉄骨二階建て、延べ 350 平方米。)

＜10 月 1 日＞

揖斐郡教育研修センターを揖斐川町上南方 165 -10 に移転し、事務を始める（移転挨拶）

＜10 月 14 日＞

揖斐郡教育研修センターの移転開所式を挙行する。　挨拶回り、礼状•移転開所の発送をする。

＜平成９年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

（1）研修センター組織　　所長　次長　研修部長　嘱託部主任　嘱託部員　研究調査主任　研究調査員　事務職員

（2）郡教育会理事会　　郡地教連絡協議会長　郡教育長会長　郡校長会長　郡幼稚園長会長　郡婦人会長　郡公民館会長　郡社教職連会長　郡教育研修センター所長

（3）**事業**　**ふるさと見学会　自然に親しむ会　科学作品展　図工美術作品展　読書感想文コンクール　教育相談　実践論文　郡教育研究総会　研修会（教務主任・保健主事・教育研修員・幼児教育・初任者）　実技研修講座（書写・コンピュータ・ボランティア・絵画指導・理科実験技能講座・飼育栽培）**

## ＜平成２１年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

**＜センター事業＞**

**ふるさと見学会　自然に親しむ会　科学作品展　図工•美術作品展 読書感想文コンクール**

**教育相談事業・教育相談（電話面接）・適応指導教室**

**実践論文の募集　郡教育研究総会　教育研究員研修**

**実技研修講座・・・外国語活動研修　理科実験観察研修　食育研修　音楽実技研修　学級経営研修　特別支援研修　講師研修　教育相談研修**

## ＜平成２２年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞



＜センター事業＞

・科学作品展　　・図工・美術作品展
・夏期研修　（外国語、音楽実技、特別支援、学級経営）
・郡教育研究総会　　・授業ライブラリー（資料収集事務）
・教育研究実践論文の募集・審査　・教育研究員（研修会）
・教育相談事業　　・適応指導教室
・情報関係（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・ﾎﾑﾍﾟｰｼﾞ・授業ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ・三町広報誌）
・教育会理事会　　・センター運営委員会　・行事調整委員会



□郡学校保健会事務局
・いびの子のからだ編集と発刊
・郡学校保健会研修総会　　・郡学保理事会　・結核対策委員会
□郡ＰＴＡ連合会事務局　　□郡体協事務局
□郡保護司会事務局　　□郡更生女性会事務局　　□郡遺族会事務局

## ＜平成２６年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

＜センター事業＞



・科学作品展　　・図工・美術作品展
・夏期研修　（外国語、音楽実技、特別支援、学級経営）
・郡教育研究総会　　・授業ライブラリー（資料収集事務）
・教育研究実践論文の募集・審査　・教育研究員事業
・教育情報「いび」　・三町広報誌への郡センター記事の掲載
・教育相談事業　　・適応指導教室
・情報関係（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・ﾎﾑﾍﾟｰｼﾞ・授業ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ・三町広報誌）
・教育会理事会　　・センター運営委員会　・行事調整委員会
・岐大教職インターン事業



□郡学校保健会事務局
・いびの子のからだ編集と発刊　・郡学校保健会研修総会
・郡学保理事会　・結核対策委員会
□郡ＰＴＡ連合会事務局　　□郡体協事務局
□郡保護司会事務局　　□郡更生女性会事務局　　□郡遺族会事務局

## ＜平成３０年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

**主幹①**

・センター役員会，センター運営委員会の開催事務　　・教育研究員や嘱託主任及び部員の選出
・教育研究員（研修会及び派遣調整事務）　　・科学作品展＆社会科課題追究学習作品展
・図工・美術作品展　　・教育研究実践論文の募集・審査・論文集の発刊



・岐大論文への応募手続き　　・授業ライブラリー
・郡行事調整委員会　　・広報活動・情報処理（インターネット関係；ホームページ）
・学校教育との連絡調整（町校長会への参加　町研への参加）　池田町担当
＜郡学校保健会＞
・歯の優良児童審査　　・環境衛生活動　　・学校保健会研究総会
・３師会と養護教諭との交流会
・「いびの子のからだ」編集　と発刊

**主幹②**

・教育長会、教育会理事会の開催事務、校長会との連絡調整
・教育研究総会の開催事務　及び　総括　　・読書感想文コンクール

・教育相談関係の総括
・広報活動・情報処理　（教育情報「いび」）
・学校教育との連絡調整（町校長会への参加　町研への参加）揖斐川町担当
・揖斐郡ＰＴＡ連合会・研修会



**主幹③**
・体育主任会等との連絡調整
・学校教育との連絡調整（町校長会・町研への参加）大野町担当
・郡体育協会　　・郡体育大会の実施　　・ぎふ清流駅伝への参加
・郡駅伝大会の実施　　・郡体協表彰式　　・郡ｽﾎﾟｰﾂ懇談会の実施
・岐大教職インターン制

**臨時職員**
・教育相談事業　　・適応指導教室
・看板・幕作成（教育総会・ＰＴＡ・学保の大会　等）
・広報活動・情報処理　（三町広報誌）（インターネット関係；メール）
・行事予定（月黒板、月行事、行事案内板）　・センターの会場使用(申請・許可･点検)
・歯の優良児童審査　　・「いびの子のからだ」編集と発刊
・郡駅伝事務　　・郡体協表彰式事務



**事務職員**
・郡教育会会計事務（予算編成・決算報告）
・センター事業の会計事務
・教研支部の会計事務　　・施設管理　　・事務機器管理
・庶務（文書の受発事務、職員事務、銀行関係事務、印刷等）　・厚生

**非常勤教育相談員(５名)**

## ＜令和３年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

令和３年度郡センター運営方針

- 新学習指導要領の全面実施を受けて教育改革が進行する中、「明るく開かれた研修センター」として、「教職員にとっての研修の場」であるとともに、「必要とする教育情報を提供する場」となるよう、揖斐郡小中学校校長会と連携して揖斐郡教育機関の中枢としての機能を果たすように努める。
- 「ふるさと揖斐」を愛する郷土愛を養いつつ、一人一人の児童生徒の個性の伸長をめざして児童・生徒文化事業を展開する。
- 児童・生徒の健全な育成をめざし、健康安全や教育相談活動等の充実を図ると共に、図っていく。さらに揖斐郡内の方々にとって，気軽に利用できる学校教育・社会教育の窓口となるよう努める。

令和３年度　揖斐郡教育研修センターの柱

✧ 揖斐郡の教育活動を充実させるための本務事業・事務局事業の充実や揖斐郡の教職員の資質や授業力を高める研修事業及び teams を活用したオンライン研修及びオンライン会議の実施
✧ 児童・生徒のための文化事業（科学・社会科作品展、ふれあい作品展、図美展）と児童生徒の在籍する学校と連携した教育相談活動（ほほえみ教室等）
✧ 各校の教育実践に役立つ資料の収集と情報発信（授業ライブラリー、実践論文研修及び各学校の教育活動に役立つ積極的な資料提供（校長会での提案やメール等を通じて）
✧ 揖斐郡の学校教育推進に活用できる研究調査（諸調査に基づく揖斐郡の具体的な教育実践や児童生徒の実態の分析や改善の方向の提示）
✧ 生涯学習社会に対応した社会教育諸事業
✧ 学校及び地域の方々に親しまれる教育研修センターづくりとセンターの取組や揖斐郡の教育活動の成果を知ってもらうための広報活動

■ **コロナウイルス感染症のため郡教育研究総会を令和４年１月２１日にオンライン（TRAMS）で実施**

発表者及び関係者及び運営に関わる担当者が揖斐郡研修センターに集まり、リアルタイムで各校にオンライン配信する形で、揖斐郡教育研修総会を実施



■　**コロナウイルス感染症のため審査会のみを科学作品展は揖斐川中学校で、社会科課題追究作品展は北方小学校で実施し、作品展はオンライン科学作品展・オンライン社会科作品展として郡センターHP をつかって実施。図美展も同様のオンライン作品展の形で実施**

■　**①夏季研修Ⅰ　「コロナ禍における児童生徒の心」**
**②夏季研修Ⅱ　「夏休み明けから活かせる　ＩＣＴ」**

■　**郡三師会と養護教諭との交流会を郡セ研修室より郡学保会長・講師・郡学校保健会担当校長・郡学保事務局によりオンライン研修会の形で実施**

■　**郡学校環境衛生活動一次審査・二次審査はコロナウイルス感染症のため中止**

*※令和２年度はコロナウイルス感染症のため、郡センター主催の事業は最小限で実施し、郡セ運営委員会・郡教育会理事会も TEAMS によるオンラインで実施した*

**■教育情報「いび」１０１号・１０２号・１０３号発行**

**■いびの子のからだ６８号発刊**

## ＜令和４年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

### 令和４年度郡センター運営方針

- 新学習指導要領の全面実施を受けて教育改革が進行する中、「明るく開かれた研修センター」として、「教職員にとっての研修の場」であるとともに、「必要とする教育情報を提供する場」となるよう、揖斐郡小中学校校長会と連携して揖斐郡教育機関の中枢としての機能を果たすように努める。
- 「ふるさと揖斐」を愛する郷土愛を養いつつ、一人一人の児童生徒の個性の伸長をめざして児童・生徒文化事業を展開する。
- 児童・生徒の健全な育成をめざし、健康安全や教育相談活動等の充実を図ると共に、図っていく。さらに揖斐郡内の方々にとって，気軽に利用できる学校教育・社会教育の窓口となるよう努める。

### 令和４年度　揖斐郡教育研修センターの柱

✧　センターホームページ・センター通信等を使った情報発信・広報機能の更なる充実
（揖斐郡内の教育活動の優れた取組や児童生徒・教職員の頑張りを紹介し、学び合う）

✧　TEAMS によるオンライン会議の場の提供（要望に応じてセンターでセッティング）

✧　ホームページによるオンライン展示会やライブラリー事業の充実（授業ライブラリー、実践論文ライブラリー）ホームページを通じてのデジタルデータの配信

✧　揖斐郡学校保健会ホームページの開設（三師会と連携した教育活動ライブラリー）等

### 令和４年度　郡センター　事業



■　**揖斐郡教育研修センターホームページを刷新**

■　①夏季研修Ⅰ　教育相談・特別支援研修　８月２日（火）
＜第Ⅰ部＞教育相談・特別支援教育に関する講話
「児童生徒の困り感をどうつかみ、どう支援していくか
＜第２部＞個のニーズに応じた指導をテーマにしたシンポジウム
「児童生徒への個に応じた指導」に関わる内容
②夏季研修Ⅱ　不登校対応研修　　８月２日（火）
＜講話①＞西濃学園高校　教頭　北浦　理様　　＜講話②＞西濃学園　ＳＣ　太田宣子　様
③夏季研修Ⅲ　８月３日（火）
各町の ICT 環境の実態に応じた授業や実践で活用できる ICT 活用能力を身につける研修
講師　郡教育研究員（ICT 担当）

・科学作品展・社会科課題追究作品展　９/１～９/６　大野町総合町民センター

・読書感想文コンクール　審査会及び感想文集の発行　郡審査会　９月５日

・図工・美術作品展　ふれあい作品展　　１/１６～１/２２
・郡教育研究総会（オンライン型で実施）　１月２０日
・教育実践論文表彰式、講評　・研究発表・シンポジウム
・授業ライブラリー（資料収集事務）
・教育研究実践論文の募集・審査　・教育研究員事業
・教育情報「いび」１０４号・１０５号・１０６号
・三町広報誌への郡センター記事の掲載
・教育相談事業　　・適応指導教室（ほほえみ教室）
・ほほえみ教室保護者会・教育相談研修会をほほえみ教室主催で実施
・授業ライブラリー
**・実践論文ライブラリーを郡セ HP に開設**
**・センター通信の発行を発行し、作品展・実践論文・教育会総会の成果を郡内に広める。**
・教育会理事会　・センター運営委員会　・郡研修部長会　・行事調整委員会



□郡学校保健会事務局
・いびの子のからだ編集と発刊（６９号）
・歯の健康優良児表彰　・郡学校環境衛生活動優秀校表彰　・郡三師会と養護教諭との交流会
・郡学校保健会研修総会（令和４年度は県学校保健研究大会で兼ねる）
・郡学保理事会　・結核対策委員会
□郡ＰＴＡ連合会事務局　□郡体協事務局

■　**岐阜県学校保健研究大会（揖斐郡大会）に向け揖斐郡学校保健会ホームページを開設**

■　**第６１回岐阜県学校保健研究大会（揖斐郡大会）を１１月２７日（日）に揖斐川町地域交流センター「はなもも」で開催**（令和4年度揖斐郡学校保健研修総会を兼ねて実施）　**岐阜県内の学校保健関係者が参加**




＜研究主題＞
ポストコロナ時代を生き抜く力をもった児童生徒の育成
～郡三師会と学校の連携による健康づくりを通して～

＜研究発表＞
① 郡保健主事部会　自らの健康を守るとともに、身の周りの人々の健康にも意識をもったり、働きかけたりすることができる児童・生徒の育成～保健主事のマネジメントの在り方と、三師会との連携による健康教育の推進～
② 郡養護教諭部会　「生涯にわたり主体的に健康な生活をつくりだす子の育成」
～高い危機管理意識をもち、養護教諭の専門性を生かした保健活動の在り方～
③ 郡学校保健会　郡が一体となって「ポストコロナを生き抜く５つの力」を育てる学校保健活動の推進　～郡学校保健会による郡全体の健康づくりの充実を図るマネジメントや支援を通して～

＜講演＞
『コロナ禍におけるこどもたち　～小児発達外来の現場から～』
講師　こころとそだちのクリニック あすなろ　院長　各務原病院　精神科医師（非常勤）　加藤　智美　先生

## ＜令和５年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

**令和５年度郡センター運営方針**

- 「明るく開かれた研修センター」として、「教職員にとって有効な研修の場」を設けると共に、「必要とする教育情報」を提供できるよう、揖斐郡小中学校校長会や各町の教育委員会と連携して揖斐郡教育の中心的な機能を果たすように努める。
- 一人一人の児童生徒の個性の伸長や自己肯定感がもつことをめざした児童・生徒文化事業を工夫して行う。
- 児童・生徒の健全な育成をめざし、健康安全や教育相談活動等の充実を図るとともに、気軽に利用できる学校教育・社会教育の窓口となるよう努める。

**令和５年度　揖斐郡教育研修センターの柱**

✧　揖斐郡の教育活動を充実させるための学校教育関連事業・事務局事業の充実や揖斐郡の教職員の資質や授業力を高める効果的な集合型・オンライン研修の実施
✧　児童・生徒のための文化事業の工夫（科学・社会科作品展、ふれあい作品展、図美展）
✧　児童生徒の在籍する学校と連携した教育相談活動（ほほえみ教室等）
✧　各校の教育実践に役立つ資料のデータベース化、教育実践論文事、各学校の教育活動に役立つ積極的な資料提供
✧　揖斐郡の学校教育推進に活用できる研究や評価、アンケートの実施（揖斐郡の具体的な教育実践や児童生徒の実態の分析や改善の方向の提示：グーグルフォームのさらなる活用と郡の教育活動への還元）→各校および教科研、郡の部会等へのグーグルフォームや
✧　ホームページへの資料提供等のサービス（各校の学校運営のスリム化への貢献）
✧　郡学校保健会・郡ＰＴＡ連合会・郡体育協会の組織の活性化と活動の充実
✧　学校及び地域の方々に親しまれる教育研修センターづくりとセンターの取組や揖斐郡の教育活動の積極的な発信
✧　センターの情報発信機能・情報提供サービスの充実、教育活動のスリム化・重点化

■　**令和５年度より「児童生徒の充実感につなげるICTを有効に活用した揖斐郡教育会事業やセンター事業・事務局事業の推進と積極的な広報活動に力を入れ、オンラインによる事業の質の向上とスリム化を積極的に推進する。**
■　**揖斐郡教育会・郡センター規定・センター職員服務規定の改定を実施。**
■　**センター職員の労働条件通知書の詳細を定めるとともに、勤務のための月間予定表・週間予定黒板を明示し、勤務の透明化を図る。**

**令和５年度　郡センター事業**

**【郡教育会】**

・揖斐郡教育実践論文、岐大論文　　１１月２８日一次　１２月１日二次　審査会
・揖斐郡教育研究総会　　１月１９日（オンライン型で実施）
　　永続的にオンライン実施することを決定
　　教育実践論文表彰式、講評　　プレゼン及び研究についての発表
・郡教育研究員事業
・夏季研修　７月３１日・８月１日
　①　夏季研修Ⅰ：若い先生のための教育相談講座～実践事例を通して～　井上　修一　先生
　②　夏季研修Ⅱ：学級内で困り感のある児童生徒への対応～個々の事例を通して対応策を学ぶ～
　③　夏季研修Ⅲ：教育効果を高めるICT・教職員の仕事のスリム化を図るICT・児童生徒の力となるICT活用能力
　　授業でのICT活用：郡教育研究員（ICT）　大野小　木下翔太先生
　　学校運営でのICT活用、校務のスリム化のためのICT活用谷汲中　藤林純子教頭先生
　　児童生徒にとってのICT活用の意義と児童に生きるICTを育てるための指導
　　岐阜女子大学　横山隆光　教授
・授業・実践論文・教育研究員ライブラリー
・郡科学作品展　　・郡社会科課題追究作品展　　（※県中央展出品を含む）　９月７日・８日
・郡図工美術作品展・郡ふれあい作品展　１月１７～２３日
・郡読書感想文コンクール（県読感想文コンクール出品・読書感想文集作成を含む）　郡審査会　９月４日
・センター通信　　・センターホームページ管理運用・更新　　・センター週予定
・冊子刊行事業（教育実践論文集・いびの子のからだ）
・教育情報「いび」１０７号・１０８号・１０９号
・教職員インターン事業
・教育相談事業の企画運営　　・ほほえみ教室諸事業の運営、管理
・主幹連携会議及び各校との調整　　・毎月の不登校等についての報告・提案
・ほほえみ教室運営計画及び実施・活動評価・広報
・ほほえみ指導員の勤務管理及び指導員間の調整（勤務割振りや勤務内容分担）
・ほほえみ教室指導員の児童生徒への対応や学校との対応の援助

・教育相談研修会及び個別の懇談の計画
・教育長会　・教育会理事会　・センター運営委員会　・センター研修部長会
・郡小中校長会・校長会理事会　　・センター事業企画・運営諸会議
・行事調整委員会　次年度の教育会及びセンター事業の調整・作成及び運営

**【郡学校保健会事務局】**
・郡学校保健会事業計画報告　　・郡学校保健会予算案・決算報告
・郡学校保健会理事会運営
・揖斐郡学校保健研修総会　　８月２日（水）１３：００～１５：２０
ＮＰＯ法人　ＡＳＴＡ様
東海国立大学機構　岐阜大学医学部看護学科　地域生涯発達看護学講座　母性看護学教授　井關　敦子　様
「トランスジェンダー、性別不合（性同一性障害）の理解と支援 ～治療をふまえて～」
・結核対策事務説明会　　・いびの子のからだ編集委員会
・歯の健康優良児表彰
・郡学校環境衛生調査　　６月３０日　一次審査　　７月１２，２３日　二次審査
・郡三師会と養護教諭交流会　　２月１４日（水）　１３：３０～１５：０５　はなもも
講演①　「緊急時の対応と準備」揖斐郡消防本部　警防課　　救急救命士　　宇佐美　毅　様
講演②　「学校から医療機関に適切な連携について」　いびがわ診療所　　西脇　健太郎先生
・揖斐郡学校保健会表彰
・学校保健会ホームページ管理運用　・郡三師会と学校との連携推進
・いびの子のからだ　第７０号

**【郡Ｐ連事務局】**
・郡Ｐ連事業計画報告　　・郡Ｐ連予算案・決算報告
・郡Ｐ連企画会・理事会運営　　・郡Ｐ母親委員会運営
・夏季郡Ｐ研修会　　・県Ｐ大会・会議への参加

**【郡体協事務局】**
・郡体協事業計画報告　　・郡体協予算案・決算報告
・郡体協理事会・本部役員会運営　　・揖斐郡体育大会　　・郡体協表彰式
・清流駅伝・選考会　　・揖斐郡駅伝大会・監督会議

## ＜令和６年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

**■揖斐郡教育研修センターホームページに揖斐郡教育会掲示板を設置し、揖斐郡内の教職員が掲示板を通じて文書を送付したり、データのやり取りができるようにするとともに、教研支部による郡教研の指導案や連絡ができるようにした。**
**■これにより揖斐郡の教職員が提案を自由に交流したりできるようにした。また教研支部の「いびの教育」を掲示板に主務者があげられる体制を整えた。**
**■郡センターホームページにアンケートフォームや領収書提出フォームを設置してアンケートの記入や集計ができるようにし、郡教育会事業に関する仕事のスリム化を進めた。**



**令和６年度郡センター運営方針**
●　揖斐郡の教職員・児童生徒・保護者から必要とされ、信頼される郡センター経営と事業推進
**令和６年度　揖斐郡教育研修センターの柱**
✧　「揖斐郡の教育活動の向上につながるのか」、「取組は成果に直結し、スリムかされているか」を常に問い返すとともに、学校現場の声に耳を傾けながら、センターが主催する学校教育関連事業・事務局事業の充実を図る。
✧　児童生徒が取組に対する情熱や意欲をもって取り組み、自己肯定感や達成感がもてる文化事業を実施する。（科学・社会科作品展、ふれあい作品展、図美展）
✧　「ねらいを焦点化し、負担が少ない」揖斐郡教職員の資質や授業力を高める効果的な集合型・オンライン研修を工夫して実施する。
✧　揖斐郡の児童生徒の成長や教育力の向上につながることを大切にした夏季研修、郡教育実践論

文、郡教育研究総会、郡教育研究員事業などの研修関係事業の工夫した実施と各研修事業の成果の郡内での共有を行う。

✧　各校の教育実践に役立つ資料のデータベース化、教育実践論文、各学校の教育活動に役立つ積極的な資料提供を行うとともに、揖斐郡の学校教育に活用できる研究や評価、アンケートの実施を行い、揖斐郡内の先生方の声や願いを揖斐郡教育会の事業やセンター事業に反映させる。

✧　ＴＥＡＭＳ、グーグルフォーム、郡センターＨＰなどのコンテンツのより有効な活用方法を工夫することで、センターを媒介にした郡内の学校の取組や郡内で実施される研修事業等がオンラインで接続できる態勢づくりを３町の教育委員会や各学校と連携して進める。




✧　児童生徒の現状の的確な把握及び願いや指導方法等を在籍校の教育相談カウンセラー等と共有・連携して進めるほほえみ教室での指導・成果の還元と郡内の教職員の教育相談の指導力を高め、学校や家庭での指導に生きるほほえみ教室主催の教育相談研修会を定期的に実施する。






✧　郡学校保健会・郡ＰＴＡ連合会の各活動の充実と活動の成果を目に見えやすい形で各校や郡内に発信し、郡三師会と学校が連携した郡学校保健活動の推進、郡Ｐと各単Ｐ・学校と保護者が連携した「揖斐郡がひとつ」となった事務局事業の取組を行う。また、今後、学校の体制変化に伴うＰＴＡの組織や活動の在り方を検討していく。

**令和６年度　郡センター事業**

**【郡教育会】**

・揖斐郡教育実践論文、岐大論文　　１１月２８日一次　１２月３日二次　審査会
・揖斐郡教育研究総会　　１月２３日（オンライン型で実施）
　永続的にオンライン実施することを決定
　教育実践論文表彰式、講評　　プレゼン及び研究についての発表
・郡教育研究員事業
・夏季研修　７月２３日・８月１日
①　夏季研修Ⅰ：教育相談研修
　叱らないけど譲らない支援　～発達障がいや不登校の子供を対象に～』
　和歌山大学 教育学部　　名誉教授　武田 鉄郎　先生
②　夏季研修Ⅱ：　危機管理研修
　「信頼を築き、トラブルをなくすための学校におけるリスクマネジメントとクライシスマネジメント」
　池田中学校　　松本　正樹　教頭先生
・授業・実践論文・教育研究員ライブラリー
・郡科学作品展　　・郡社会科課題追究作品展　　（※県中央展出品を含む）　９月６日・７日
・郡図工美術作品展・郡ふれあい作品展　１月２３～２８日
・郡読書感想文コンクール（県読感想文コンクール出品・読書感想文集作成を含む）　郡審査会　９月４日
・センター通信　　・センターホームページ管理運用・更新　　・センター週予定
・冊子刊行事業（教育実践論文集・いびの子のからだ）
・教育情報「いび」１１０号・１１１号・１１２号
・教育相談事業の企画運営　　・ほほえみ教室諸事業の運営、管理
・主幹連携会議及び各校との調整　　・毎月の不登校等についての報告・提案
・ほほえみ教室運営計画及び実施・活動評価・広報
・ほほえみ指導員の勤務管理及び指導員間の調整（勤務割振りや勤務内容分担）
・ほほえみ教室指導員の児童生徒への対応や学校との対応の援助
・教育相談研修会及び個別の懇談の計画
・教育長会　・教育会理事会　・センター運営委員会　・センター研修部長会
・郡小中校長会・校長会理事会　　・センター事業企画・運営諸会議
・行事調整委員会　次年度の教育会及びセンター事業の調整・作成及び運営

**【郡学校保健会事務局】**

・郡学校保健会事業計画報告　　・郡学校保健会予算案・決算報告
・郡学校保健会理事会運営
・揖斐郡学校保健研修総会　　７月３１日（水）１３：００～１５：２０

スマホ・ゲーム・ネットの使用に伴う問題とその対応
～家族や学校でできるネット・スマホ・ゲーム依存にならない方法～
ＮＰＯ日本次世代育成支援協会　鷲津　秀樹　先生
・結核対策事務説明会　・いびの子のからだ編集委員会
・歯の健康優良児表彰
・郡学校環境衛生調査　６月２８日　一次審査　７月１０，１１日　二次審査
・郡三師会と養護教諭交流会　２月１２日（水）　１３：３０～１５：０５　はなもも
「これからの養護教諭に求められるもの」
岐阜県教育委員会　体育健康課　阪野　きよみ　先生
・揖斐郡学校保健会表彰
・学校保健会ホームページ管理運用　・郡三師会と学校との連携推進
・いびの子のからだ　第７１号

**【郡Ｐ連事務局】**
・郡Ｐ連事業計画報告　・郡Ｐ連予算案・決算報告
・郡Ｐ連企画会・理事会運営　・郡Ｐ母親委員会運営
・夏季郡Ｐ研修会　・県Ｐ大会・会議への参加

**【郡体協事務局】**
・郡体協事業計画報告　・郡体協予算案・決算報告
・郡体協理事会・本部役員会運営　・揖斐郡体育大会　・郡体協表彰式
・清流駅伝・選考会　・揖斐郡駅伝大会・監督会議

## ＜令和７年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

**令和７年度郡センター運営方針**

郡教育会・郡教育研修センター事業のアップデート（成果・スリム化・ICT 活用・エビデンス）
- 揖斐郡の教職員・児童生徒・教育関係者から必要とされる郡センター経営と事業推進
- 「揖斐郡はひとつ（ねらいが明確な事業）」→揖斐郡の児童・生徒の成長と充実感
- 教職員にとって多様で有効な研修の場」「郡内の教職員が必要とする教育情報」の提供→揖斐郡教職員の資質及び指導力の向上
- 郡センター発信の「ICT の活用」による揖斐郡教育の充実や教職員のスリム化への貢献
- 揖斐郡のＩＣＴ活用推進の中心的な存在としての機能と学校の教育活動の充実

**令和７年度　揖斐郡教育研修センターの柱**

郡センター発信の ICT 活用の５本柱による教育の質向上と効率化
ICT を活用したスリム化や教育事業の改善　（目に見える形でのエビデンスの提出）
✧　グーグルフォームの活用
✧　TEAMS によるオンライン会議・研修
✧　生成ＡＩの教育への有効な活用
✧　掲示板の効率的な活用
✧　郡センターホームページの効果的な活用

**令和７年度　郡センター事業**

【郡教育会】
・揖斐郡教育実践論文、岐大論文　１１月２７日一次　１２月２日二次　審査会
・揖斐郡教育研究総会　１月２１日（水）（オンライン型で実施）
教育実践論文表彰式、講評　プレゼン及び研究についての発表
・郡教育研究員事業
・夏季研修　７月２３日・８月１日
① 夏季研修Ⅰ：若い先生のための教育相談講座　～実践事例を通して～」
第１部　不登校傾向にある児童・生徒に寄り添うとは？
第２部　実践事例に基づくケーススタディ
講師：各務原病院　臨床心理士　井上　修一先生
② 夏季研修Ⅱ：生成 AI 活用研修（初級編）
「教育効果を高める「学校における生成 AI の活用」」



・児童生徒の将来に必要となる生成 AI 活用能力や教師に求められるもの
・各教科での教育効果を上げる生成 AI の活用方法
・学校活動の様々な場面での生成 AI の活用と有効性
・生成 AI の活用に関する注意点
講師：岐阜聖徳学園大学　DX 推進センター長　芳賀　高洋先生



**■生成 AI 活用研修をもとに「揖斐郡生成 AI 活用ブック」を作成して各校に配付。郡教育研修実践論文などにも生成 AI を活用した実践が見られるようになった。**

・授業ライブラリー
・郡科学作品展　　・郡社会科課題追究作品展（※県中央展出品を含む）
９月６日・７日
・郡図工美術作品展・郡ふれあい作品展　１月２２～２７日
・郡読書感想文コンクール（県読感想文コンクール出品・読書感想文集作成を含む）
郡審査会　９月３日



・センター通信　　・センターホームページ管理運用・更新
・センター週予定
・冊子刊行事業（教育実践論文集・いびの子のからだ）
・教育情報「いび」　　１１３号・１１４号・１１５号
・教育相談事業の企画運営
・ほほえみ教室諸事業の運営、管理
・主幹連携会議及び各校との調整
・毎月の不登校等についての報告・提案
・ほほえみ教室運営計画及び実施・活動評価・広報
・ほほえみ指導員の勤務管理及び指導員間の調整（勤務割振りや勤務内容分担）
・ほほえみ教室指導員の児童生徒への対応や学校との対応の援助
・教育相談研修会及び個別の懇談の計画




・教育長会　・教育会理事会　・センター運営委員会　・センター研修部長会
・郡小中校長会・校長会理事会　　・センター事業企画・運営諸会議
・行事調整委員会　次年度の教育会及びセンター事業の調整・作成及び運営



【郡学校保健会事務局】
・郡学校保健会事業計画報告　　・郡学校保健会予算案・決算報告
・郡学校保健会理事会運営
・揖斐郡学校保健研修総会　　７月３０日（水）１３：００～１５：２０
「児童生徒の体力・運動能力の維持・向上について考えておきたいこと」
中部学院大学　スポーツ健康科学部　スポーツ健康科学科教授　　有川　一　先生
・結核対策事務説明会　　・いびの子のからだ編集委員会
・歯の健康優良児表彰
・郡学校環境衛生調査　　６月２７日　一次審査　　７月９，１０日　二次審査
・郡三師会と養護教諭交流会　　２月１８日（水）　１３：３０～１５：０５　大野町総合町民センター
「学校保健安全員会の運営の仕方や三師会・関係機関の連携について」
西濃教育事務所　教育支援課　課長補佐　山田　雄一郎　先生
・揖斐郡学校保健会表彰
・学校保健会ホームページ管理運用　・郡三師会と学校との連携推進



【郡Ｐ連事務局】
・郡Ｐ連事業計画報告　　・郡Ｐ連予算案・決算報告
・郡Ｐ連企画会・理事会運営　　・郡Ｐ母親委員会運営
・夏季郡Ｐ研修会　　・県Ｐ大会・会議への参加

【郡体協事務局】
・郡体協事業計画報告　　・郡体協予算案・決算報告

・郡体協理事会・本部役員会運営　　・揖斐郡体育大会　　・郡体協表彰式
・清流駅伝・選考会　　・揖斐郡駅伝大会・監督会議

## ＜令和８年度　揖斐郡教育研修センターの組織及び事業＞

**令和８年度郡センター運営方針**

揖斐郡の教職員・児童生徒・教育関係者から必要とされる郡センターの運営と事業

- 「揖斐郡はひとつ（ねらいが明確な事業）」→揖斐郡の児童・生徒の成長と充実感
- 教職員にとって多様で有効な研修の場」「郡内の教職員が必要とする教育情報」の提供
- 郡センター発信の「ICT の活用」による揖斐郡教育の充実や教職員のスリム化への貢献と郡教育会事業・郡センター事業の成果を維持したスリム化

✧　生成ＡＩの教育への有効な活用を進める
✧　郡センターホームページの効果的な活用を図る
✧　郡教育会掲示板の効率的な活用により郡内教職員の学びあいを促す
✧　TEAMS によるオンライン会議・研修に推進する
✧　グーグルフォームで教育現場の声を聴き、センター事業に生かす

**令和８年度　揖斐郡教育研修センターの柱**

①　「開かれた研修センター」として、「教職員にとって多様で有効な研修の場」を設けるとともに、「郡内の教職員が必要とする教育情報」を提供する。また揖斐郡小中学校校長会や各町の教育委員会と連携を強化し、教育会事業の成果を高めながらスリム化を図る。
②　一人一人の児童生徒の個性の伸長や自己肯定感がもつことをめざした児童・生徒文化事業を工夫して行うともに、優れた取組や成果を郡内の各学校が共有できるようにする。
③　ほほえみ教室を核にして、郡小中校長会や各校の教育相談カウンセラーと連携し、健康安全や教育相談活動等の充実を図り、気軽に利用できる学校教育・社会教育の窓口となるよう努める。
④　ＴＥＡＭＳによるオンライン会議やグーグルフォーム、郡センターＨＰを郡内の教育活動の充実や郡内教職員の事務のスリム化につなげたり、令和７年度に各校に配付した「揖斐郡生成ＡＩ活用ブック」の活用を推進し、揖斐郡におけるＩＣＴ活用推進の中心的な存在としての機能を高める。

**令和８年度　郡センター事業**



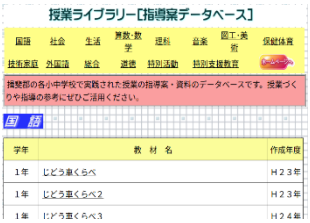

【郡教育会】
・揖斐郡教育実践論文、岐大論文　　１２月７日（月）令和８年度より審査は校長会が行う
・揖斐郡教育研究総会　　１月２０日（水）（オンライン型で実施）
　教育実践論文表彰式、講評　　プレゼン及び研究についての発表
・郡教育研究員事業
・夏季研修　７月２８日（火）９：００～１１：００
「AI リテラシーを意識した生成 AI の効果的な授業活用」
～生成 AI 時代の「問いを育てる力」～
岐阜聖徳学園大学　DX 推進センター長　　芳賀　高洋　先生




**■夏季研修の講演をもとに「新編　揖斐郡生成 AI 活用ブック（２）を作成して各校に配付しするとともに郡セ HP にアップし、揖斐郡内での生成 AI の更なる活用を図る。**

**■平成２４年度～令和７年度の合計　　全ライブラリー数が６３１コンテンツとなる。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 国語 | １２３ | 保健体育 | ２１ |
| 社会 | ３８ | 技術・家庭科 | １０ |
| 生活科 | 7 | 英語・外国語 | ３１ |
| 算数・数学 | １６３ | 総合的な学習 | 2 |
| 理科 | ２３ | 道徳 | １４３ |
| 音楽 | １３ | 特別活動 | １９ |
| 図工・美術 | １ | 特別支援教育 | ３７ |



・郡科学作品展　　・郡社会科課題追究作品展（※県中央展出品を含む）
９月５日（土）・６日（日）
・郡図工美術作品展・郡ふれあい作品展　１月２２～２７日
・郡読書感想文コンクール（県読感想文コンクール出品・読書感想文集作成を含む）
郡審査会　９月２日（水）




・センター通信
・センターホームページ管理運用・更新
・センター週予定
・冊子刊行事業（教育実践論文集・いびの子のからだ）
・教育情報「いび」　　１１６号・１１７号・１１８号
・教育相談事業の企画運営
・ほほえみ教室諸事業の運営、管理
・主幹連携会議及び各校との調整
・毎月の不登校等についての報告・提案
・ほほえみ教室運営計画及び実施・活動評価・広報
・ほほえみ指導員の勤務管理
・ほほえみ教室指導員の児童生徒への対応や学校との対応の援助
・教育相談研修会及び個別の懇談の計画
・教育長会　・教育会理事会　・センター運営委員会
・センター研修部長会
・郡小中校長会・校長会理事会
・センター事業企画・運営諸会議
・行事調整委員会　次年度の教育会及びセンター事業の調整・作成及び運営



【郡学校保健会事務局】
・郡学校保健会事業計画報告　　・郡学校保健会予算案・決算報告
・郡学校保健会理事会運営
・揖斐郡学校保健研修総会　　７月２９日（水）１３：００～１５：２０
総会・表彰（功労賞・学校環境衛生優秀校）・講評
講演　「こどものアレルギーの最近の話題～アナフィラキシーを中心に～」
講師　岐阜大学附属病院　小児科　臨床教授
同アレルギーセンター　センター長　川本　典生　先生



・結核対策事務説明会　　・いびの子のからだ編集委員会
・歯の健康優良児表彰
・郡学校環境衛生調査　　6月27日　一次審査　　7月9，10日　二次審査
・郡三師会と養護教諭交流会
講演及び郡三師会の養護教諭の質問への回答
２月１０日（水）　１３：３０～１５：０５　大野町総合町民センター




・揖斐郡学校保健会表彰
・学校保健会ホームページ管理運用　・郡三師会と学校との連携推進

# 揖斐郡学校保健会の歴史とあゆみ

## Ⅰ　揖斐郡学校保健会設立の願い及び経緯

### （１）　揖斐郡学校保健会の目的

＜創設時＞

- 「子どもたちの健康を地域一丸で守る」という強い使命感のもとに生まれ、郡内の子どもたちの健康を守り、豊かな保健教育を推進するため、長年にわたり独自の歩みを続けてきた。

＜現在＞

- 郡内小中学校の学校保健の充実向上につとめ、関係者相互の密接な連携・協力のもとに、児童生徒及び職員の健康保持増進並びに、保健教育の振興を図る（令和８年度「郡学校保健会規約」）
- 目的達成のために「学校保健の普及、啓発」、「学校保健に関する事業の企画及び実施」、「学校保健推進に関する調査研究」、「学校保健関係者の研修」、「その他必要な事業」に取り組んでいる。

### （２）　揖斐郡学校保健会の設立の背景と取組

#### ①　＜揖斐郡学校保健会設立時期の様子＞

- 1958 年（昭和 33 年）に「学校保健法」が制定されたことを受け、岐阜県内では翌昭和 34 年に県レベルの学校保健会が成立した。それに呼応する形で、揖斐郡内でも医師会・歯科医師会・薬剤師会の「三師会」と、小中学校の校長会、養護教諭部会、教育委員会などが手を取り合い、郡単位での組織化（＝揖斐郡学校保健会の結成）が進められた。
  ※『岐阜県学校保健史』などの公的な記録において、揖斐郡学校保健会の具体的な「設立年」は親組織である岐阜県学校保健会が発足した 1959 年（昭和 34 年）の前後、昭和 30 年代前半から中頃にかけてと位置づけられている。
- 創立当時は、現代のように冷暖房や整った手洗い場があるわけではなく、学校の衛生環境（水質や便所の衛生、教室の採光など）をいかに改善するかが急務であり、学校薬剤師を中心とした環境衛生調査が始まった。
- 学校で孤立しがちだった養護教諭（保健室の先生）を地域医療が全面的に支え、初期の時代から、郡三師会の医師・歯科医師・薬剤師と、学校の養護教諭が直接ひざを突き合わせて話し合う「交流会」が熱心に行われた。
- 当時は、寄生虫対策やトラコーマ（目の感染症）、児童の栄養失調、むし歯の蔓延など、クリアすべき課題が山積していました。学校現場のリアルな疑問や困りごとに、地域の専門医が直接指導・助言を行うこのスタイルは、揖斐郡の学校保健の質の高さを決定づける伝統となった。
- 当時は交通の便が今ほど良くなかった山間地域（旧徳山村や旧藤橋村など）も多く、へき地の学校まで学校医や学校歯科医が赴き、子どもたちの健康診断を行うための巡回体制の確立に、創立期の関係者は心血を注ぐなど、「三師会」と学校現場の強い結びつきのもと行った。
- 創立期からの地道な健診や環境衛生の積み重ねが、その後の「う歯（虫歯）予防」の先進的な取り組みや、現代の ICT を活用した学校保健の効率化へと脈々と受け継がれた。

#### ②　＜揖斐郡学校保健会の歴史＞

- 揖斐郡学校保健会は、時代の変化や健康課題の多様化（近年のアレルギー対策など）に対応しながらも、「医師・歯科医師・薬剤師の先生方と、学校現場がダイレクトにつながり、郡が一つになって子どもを見守る」という、発足当時からの温かい教育的志向が一貫して受け継がれている。
- 事務局の設置： 初期の頃から、郡内の教育研修を管轄する事務局（現在の揖斐郡教育研修センター内など）に拠点を置き、行政と医療、学校が直接顔を合わせる「地域密着型の連携」を大切にした運営体制が敷かれてきた。

#### （ｉ）設立と地域ネットワークの構築

- 昭和 33 年の学校保健法制定前後から、揖斐郡内（現在の揖斐川町・大野町・池田町）の小中学校、専門職（学校医・学校歯科医・学校薬剤師)、行政が一体となった組織化が模索された。
- 郡内の各町村が密に連携し、子どもたちの健康診断、う歯（虫歯）予防、環境衛生の改善に向けた巡回指導や研究体制が戦後早い段階から整えられていった。

**（ii）揖斐郡独自の健康課題へのアプローチ**

- 揖斐郡は地理的な広がり（山間部から平野部まで）を持つことから、以下のような地域特有の活動に力を入れてきた歴史がある。
- へき地・山間部における学校保健の充実：旧徳山村や旧藤橋村などを含む広大な山間地域の学校に対し、学校医の巡回体制の確保や、児童生徒の健康格差をなくすための取り組みがなされた。
- 寄生虫卵検査から虫歯予防への転換：昭和 30 年代～40 年代の大きな課題であった寄生虫対策がいち早く一段落したのち、揖斐郡ではフッ化物洗口の先駆的な試みや、学校歯科医と連携した「全郡を挙げたう歯予防」が活発に行われ、県内でも先進的なモデルとなった。

**（iii）児童生徒の健康・体力統計誌『いびの子のからだ』の発行**

- 揖斐郡学校保健会初期から、郡内の児童生徒の健康状態や体力の変化を克変化を克明に記録し続けた『いびの子のからだ』の編集・発行事業に取り組んだ。
- 単に健康診断を行うだけでなく、そのデータを郡全体で集計・分析し、数値として見える化することで「いびの子どもたちの身体の課題は何か（むし歯の多さや、当時の体格の傾向など)」を地域全体で共有し、次の保健指導に活かせるようにした。

※現在（第７３号を超える長寿誌）に至るまで脈々と受け継がれている。

**（iv）学校環境衛生調査と「歯の健康」への注力**

- 昭和 33 年の学校保健法制定以降、学校の環境（教室の採光、換気、水質など）を科学的に検査することが求められ、郡薬剤師会（学校薬剤師）の指導のもと、検査機材もまだ十分でない時代から、郡内の全学校を巡回し、衛生環境の向上に努めた。
- 戦後の砂糖の普及に伴い激増した児童のむし歯対策として、「歯の健康優良児表彰」などの啓発イベントを初期から積極的に展開し、子どもたち自身に健康への意識を持たせる「健康教育」を実践した。

**（v）岐阜県学校保健研究大会（揖斐郡大会）＆岐阜県歯科研究大会（揖斐郡大会）**

- 平成 26 年度（2014 年度）１１月に大野町総合町民センターなどを会場として「第 56 回 岐阜県学校歯科保健研究大会（揖斐郡大会)」が開催されました。

- 令和４年１１月２７日（日）に揖斐川町地域交流センター「はなもも」を会場に「第６１回岐阜県学校保健研究大会（揖斐郡大会)」を「ポストコロナ時代を生き抜く力をもった児童生徒の育成～郡三師会と学校の連携による健康づくりを通して～」のテーマのもと実施した。

✧ 明確な柱の確立: 県大会の成果をさらに発展させる形で、「郡三師会と学校が連携した学校保健事業の充実」という強固な活動指針（柱）が改めて定められた。
✧ 情報発信のデジタル化: この時期を境に「揖斐郡学校保健会ホームページ」が新たに開設され、従来のアナログな情報共有から、各校の保健主事や養護教諭、保護者へ迅速に情報や書式を届け

＜大会テーマ＞

ポストコロナ時代を生き抜く力をもった児童生徒の育成~郡三師会と学校の連携による健康づくりを通して~

＜研究発表＞

研究部会Ⅰ　揖斐郡保健主事部会

自らの健康を守るとともに、身の周りの人々の健康にも意識をもったり、働きかけたりすることができる児童・生徒の育成　~保健主事のマネジメントの在り方と、三師会との連携による健康教育の推進~

研究部会Ⅱ　揖斐郡養護教諭部会

「生涯にわたり主体的に健康な生活をつくりだす子の育成」

～高い危機管理意識をもち、養護教諭の専門性を生かした保健活動の在り方～

研究部会Ⅲ　揖斐郡学校保健会
郡が一体となって「ポストコロナを生き抜く５つの力」を育てる学校保健活動の推進
～郡学校保健会による郡全体の健康づくりの充実を図るマネジメントや支援を通して～

＜記念講演 ＞
『コロナ禍におけるこどもたち　～小児発達外来の現場から～』
講師　　こころとそだちのクリニック あすなろ　院長
各務原病院　精神科医師（非常勤）　　加藤　智美　先生

□第６１回岐阜県学校保健研究大会を終えるにあたり
第61回岐阜県学校保健研究大会実行委員長　　野田　　宜輝

新型コロナウイルス感染流行下、第61回岐阜県学校保健会研究大会が揖斐郡で開催されました。想い起こせば、令和２年４月に第１回実行委員会が開催され、それ以降何度も委員会を開催しました。しかし、コロナ下のため、参加人数、開催形式（昼食をとっていただくのかどうか）について県学校保健会の方針が決まらず、最も大切な予算も決まらないため、２通りの計画を併行して進めておりました。

過去西濃地区開催の岐阜県学校保健研究大会をみると、他の学校保健会から補助をもらってやっと収支が合っており、今回は変えていきたいとの思いが強くありました。令和４年５月になり県学校保健会会長の英断により、以前より時間を短縮し、12時45分開会 15時40分閉会、昼食なしという基本計画が認められました。その結果やっと予算が決定しました。その後もコロナ第７波により、出席者数の再検討やWebのみでの開催の検討を行ない、さらに会場を新型コロナワクチン集団接種で使用する事になり、他会場案が再浮上するなど、直前まで様々な問題の対応に追われておりました。また研究発表の見直し変更が直前まで何度もあり、担当の先生方は、自分の時間を削って対応する事になり、多大な負担をかけることになりました。このような苦難を乗り越え、本日大会を終えることができ本当に感慨深いものがあります。

本大会は、「ポストコロナ時代を生き抜く力を持った児童生徒の育成～郡三師会と学校の連携による健康づくりを通して～」のテーマの下、研究発表では、自らの健康を守ると共に、周りの人々の健康にも働きかける事ができる児童生徒を育成するために保健主事、養護教諭が三師会と連携しながら実践してきた事に関する発表を行い、次に保健主事、養護教諭の取り組みに対して、学校保健会及び三師会がどのような支援や普及活動をしてきたのかについて発表しました。記念講演を行っていただいた「こころとそだちのクリニックあすなろ」の院長加藤智美先生には、新型コロナにかからないようにという措置の一方で、そのデメリットがあまりに軽視されていないか、休校、部活や行事の中止がもたらすその後一生にわたるかもしれない負の影響を、大人は考える必要があるのではないかという内容のお話をお願いしたいと依頼し、話しにくい内容にもかかわらず快く受けていただきました。心より感謝いたします。

この研究大会が、子供たちが自分の心身を意識し、守り、生き抜く力をつけてもらえるようになるための大人の役割を考えていく機会になり、各地での学校と三師会の関わりのヒントになったのなら幸いです。

最後になりましたが、岐阜県学校保健会様、岐阜県教育委員会様のご支援に感謝申し上げます。さらに揖斐郡教育委員会様、揖斐郡三師会、揖斐郡学校保健会の力添えでここまで準備が進められましたこと、お礼申し上げます。

**（vi）揖斐郡学校保健研修総会及び郡三師会と養護教諭等の交流会の定期的な実施**

- 現場の教職員（特に養護教諭）や学校医らの研究実践を発表する「揖斐郡学校保健研究大会」を毎年７月～８月に開催し、地域ぐるみの健康教育や指導技術の向上や学校間・町村間の情報共有の場として重要な役割を果たしている。
- 毎年２月に「郡三師会と養護教諭等の交流会」を実施し、養護教諭が出した質問に対して郡三師会の先生に回答、指導していただき、養護教諭が専門的な知識の裏付けのもとに自信をもって日々の指導にあたれるようにしている。

**２　揖斐郡学校保健会の事業について（歴史と現在）**

**（１）いびの子のからだ**

- 昭和から平成にかけ、揖斐郡学校保健会は子どもたちの健康実態に即した多様な事業を継続し、

地域の保健水準の向上に貢献してきたが、揖斐郡学校保健会創設時からの事業として「いびの子のからだ」の発刊があげられる。

郡内の児童生徒の健康状態や生活習慣の調査結果をまとめ、指導の基礎資料とする機関誌の編集




- 令和８年度（２０２７年は第７３号　１年に１度の発行→第１号発行は１９５５年（昭和３０年））

現在揖斐郡学校保健会事務局に残っているもっとも古い「いびの子のからだ」は昭和５１年版の第２４号に発行されている。

＜昭和５１年当時の揖斐郡の学校＞

揖斐小　大和小　北方小　清水小　小島小　谷汲小　横蔵小　長瀬小　大野小　西小　中小　南小
温知小　八幡小　宮地小　養基小　六合小　中央小　美束小　久瀬小　小津小　公正小　横山小
杉原小　坂内小　徳山小

２６小学校　（※令和８年度は１７小学校）

揖斐川中　北和中　谷汲中　大野中　揖東中　池田中　春日中　久瀬中　横山中　杉原中
坂内中　徳山中　１２中学校　（令和８年度は６中学校）

昭和５１年度の小中　３８校　→　令和８年度は　２３校に

＜昭和５１年　第２４号の巻頭言＞

“いびの子のからだ“今回第２４号をもって紹介いたします。

体力づくりが今日ほど大きな問題として学校は勿論社会のすみずみにわたり盛んにおこなわれていることは何といっても喜ばしいことです。どの学校も教育目標の一つに体力づくりをとり入れ、日頃丈夫な体つくりに努力頂いており深く感謝いたします。

おかげさまにて本年度の実態をながめて見ますと、体力づくりが地について実態に即して継続的になされており、子どもたちの体位、体力も一段と向上して来ていることは本当に各位のご尽力の賜であります。資料を更に吟味して頂き常に伸びなやみになっている点については一段とご検討のほどお願い申し上げます。

この誌の編集に当たっては、体力づくりのそれぞれの委員の方々と教育会のご支援ご協力に対して深くお礼申し上げます。

昭和５２年１月　　養教部会顧問　　田中　俊一　　郡体力づくり　会長　　長柄　五郎

＜目次＞

年齢別・男女在籍一覧表　　疾病異常罹患数及び罹患率（小・中）
学校別視力異常者率　　う歯保有状況　　う歯保有率の推移　　体格判定極座式体格把握図
地区別（北東部・北部・中部・南部・東部・西部）体格及び変遷図
身長・体重・胸囲・座高（小・中）　運動能力テスト種目別平均値（学年別・地域別）
スポーツテスト比較表（国・県・郡）　山間部・平坦部の比較　　スポーツテスト優秀者氏名
学校別リレー結果　　郡陸上競技大会記録　　郡水泳大会記録　　郡中体連総合体育大会成績表

＜令和７年度第７２号の巻頭言＞

皆様におかれましては、日々ご清祥のこととお慶び申し上げます。今年度も学校保健会編集委員のご尽力により、「いびの子のからだ」第７２号が刊行されました。

揖斐郡におきましても、全国的な少子化の波は避けられず、複式学級の設置や学校の統廃合が現実の課題となっています。こうした変化は単に教育体制の再編を意味するだけでなく、子どもたちの学びや生活環境、さらには地域社会のつながりにも大きな影響を及ぼします。児童生徒数が減少する中だからこそ、一人ひとりの健康や成長をこれまで以上に丁寧に見守り、支えていくことが必要です。

「いびの子のからだ」は、疾病・発育状況・体力テストなどの客観的なデータを通して、子どもたちの現在を把握する大切な資料です。今後、学校の形が変わっていくとしても、このような資料を基盤として、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの心身の健康を守り育む取り組みを継続していくことが何より重要です。

少子化という社会的課題の中でも、子どもたち一人ひとりの未来は地域の未来そのものです。本冊子が、その健やかな成長を支えるための道しるべとなることを願っております。

最後になりましたが、発刊にあたりご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。
令和８年２月　　揖斐郡学校保健会　副会長　　金森　豊
（医師会→歯科医師会→薬剤師会の順で巻頭言）

＜目次＞
巻頭言「はじめに」（医師会→歯科医師会→薬剤師会の順で巻頭言）
健康状態　　疾病・異常被患者数　　疾病・異常被患率　　う歯の状況　　（養教部会いびの子のからだ担当）
発育の状況　肥満度による体格のようす　（郡学校保健会事務局）
小学校新体力テスト・・・ 郡平均の推移　　郡平均と県平均との比較と考察　（郡小体育主任代表）
揖斐郡栄養教諭・学校栄養職員部会より　（郡栄養教諭部会部長）
令和７年度　保健関係表彰の記録　（郡学校保健会事務局）
あとがき　　いびの子のからだ第７２号編集委員長（養教部会顧問校長）

**（２）揖斐郡学校保健研修総会**

①　揖斐郡学校保健会　講演の記録

| | 揖斐郡学校保健研修総会 | 三師会・養護教諭交流会 |
|---|---|---|
| 令和８年度<br><br>総会　7/29<br>交流会　2/10 | 演題<br>「こどものアレルギーの最近の話題<br>～アナフィラキシーを中心に～」<br>講師　岐阜大学附属病院　小児科　臨床教授　准教授　アレルギーセンター長<br>川本　典生　先生 | 演題<br><br>講師 |
| 令和７年度 | 演題：「児童生徒の体力・運動能力の維持・向上について考えておきたいこと」<br><br>講師：中部学院大学　スポーツ健康科学部<br>スポーツ健康科学科教授<br>有川　　一　先生 | 演題　「学校保健安全員会の運営の仕方や三師会・関係機関の連携について」<br><br>講師　西濃教育事務所　教育支援課　　課長補佐　山田　雄一朗　先生 |
| 令和６年度 | 「スマホ・ゲーム・ネットの使用に伴う問題とその対応～家族や学校でできるネット・スマホ・ゲーム依存にならない方法～」　NPO 法人日本次世代育成支援協会　鷲津秀樹先生 | 「保健室経営やこれからの養護教諭にもとめられるもの」<br><br>岐阜県教育委員会　体育健康課<br>阪野　きよみ　先生 |
| 令和５年度 | 「トランスジェンダー、性別不合（性同一性障害）の理解と支援 ～治療をふまえて～」<br>講師：ＮＰＯ法人　ＡＳＴＡ様<br>（ライフヒストリーを含む）<br>岐阜大学医学部看護学科　教授 井關 敦子 様 | 「緊急時の対応と準備」<br>揖斐郡消防本部　警防課　救急救命士<br>宇佐美　毅　様<br>「学校から医療機関への適切な連携について」<br>いびがわ診療所　　西脇　健太郎先生 |
| 令和４年度 | 『コロナ禍におけるこどもたち～小児発達外来の現場から～』<br>こころとそだちのクリニック あすなろ院長<br>各務原病院　精神科医師（非常勤）<br>加藤　智美　先生 | 「GIGA スクール構想と目の健康について、目に関する最近の話題など」<br>岐阜県眼科医会会長　佐久間仁先生 |
| 令和３年度 | コロナウィルス感染症のため中止 | 「学校における新型コロナウィルス感染症と子どもへのワクチン接種について」<br>谷汲中央診療所　西脇　健太郎　先生<br>TEAMS によるオンラインで実施 |
| 令和２年度 | ~~コロナウィルス感染症のため中止~~ | コロナウィルス感染症のため中止 |
| 令和元年度 | 「ネット・ゲーム依存から子どもたちを守るには」<br>各務原病院　　天野雄平先生 | 「感染症と闘う　克服か共存か」<br>矢嶋小児科・小児循環器クリニック<br>院長　矢嶋　茂裕　先生 |
| 平成３０年度 | 「日本のたばこと揖斐防煙教室」<br>多代クリニック院長　　多代友紀先生 | 「成長期における運動器障害」<br>若原整形外科副院長　若原和彦先生 |
| 平成２９年度 | 「学校歯科保健は子どもの将来を担う」 | 揖斐厚生病院小児科部長 |

| | | |
|---|---|---|
| | 恩田歯科医院　恩田　眞司　先生 | 伊藤貴美子先生　「成長障害の見方」 |
| 平成２８年度 | 「子供の皮膚を守る」<br>揖斐厚生病院皮膚科部長<br>藤広　満智子先生 | 「思春期の月経異常」<br>岐阜大学附属病院産婦人科<br>波多野香代子先生 |
| 平成２７年度 | 「医薬品の正しい使い方に関する指導状況及びそのポイント」<br>岐阜薬科大学実践薬学大講座病院薬学研修室教授　　寺町　ひとみ先生 | 「食物アレルギーをどう診断し、管理するのか」<br>小児アレルギークリニック　竹中学先生 |

平成２４年度講演の様子　　令和５年度講演の様子　　令和７年度講演の様子








②揖斐郡学校保健研修総会の内容

＜Ｉ＞平成２Ｉ年度揖斐郡学校保健研修総会

- 平成２Ｉ年８月５日（水）　Ｉ３：４０～Ｉ６：Ｉ５
- 谷汲サンサンホール
- 対象者　揖斐郡内　校医(内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科) 学校歯科医、学校薬剤師 小・中学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養職員、体育主任、保健体育関係教員、部活動指導者、各小中学校ＰＴＡ会長、学校保健委員　　約Ｉ５０名

(Ｉ)　開会の辞　　郡 PTA 連合会会長
(2)　挨　　拶　　郡学校保健会会長
(3)　表　　彰　　学校保健会功績者　歯の優良児童　学校環境衛生活動優良校
(4)　歯の優良児童の講評　　郡学校歯科担当理事
(5)　学校環境衛生活動の講評　　郡学校薬剤師会会長
(6)　講　　演　　講師紹介　郡教育長会代表
　　演　題　　「学校事故の現状と事故防止啓発」 講師　宗宮　三次先生(日本スポーツ振興センター)
(7) お礼の言葉 及び 閉会の辞　　郡小中学校長会長

- 平成２Ｉ年度には現在とほぼ同じ内容の総会が行われているが、令和３年度よりは総会のみにとどまらず、総会の講演内容や参加者に実施したアンケート内容を、郡学校保健会だよりとして各校に配付したり、郡学校保健会 HP にアップしたりし、総会で学んだことを郡内各学校に広め、揖斐郡の学校保健の取組を高めるようにしている。



**（３） 郡三師会と養護教諭との交流会について**

① 平成２Ｉ年度の交流会

平成２Ｉ年度は「医師会と養護教諭の交流会」として実施され、講話のみが行われた。

講師：養南病院　　副院長　　井川　典克　様 「発達障がいについて」　H23 医師会＆養教交流会

② 平成２３年度　　揖斐郡医師会の先生方と養護教諭の交流会（平成２４年２月８日（水））

講師　若原整形外科　院長　若原　和男　様　演題 「発育期のスポーツ医学について」

平成２３年度は講演の後、「成長痛・オスグット病」、「マイコプラズマ肺炎」、「今年度のインフルエンザの動向」についての質疑応答が行われた。

※平成２３年度の交流会には、医師会より小林　収先生、若原　和男先生、野原　良二先生、土屋　十次 先生、多代　友紀先生、歯科医師会より乗松　隆行先生が参加。

③ 平成２８年度　「郡三師会と養護教諭との交流会」　（平成２９年２月１日（水））

- 平成２８年度より「３師会と養護教諭との交流会」として開催されている。（はなももで実施）
- 岐阜大学医学部附属病院　産婦人科　　波多野　香代子　先生の講演
- 平成２８年度より養護教諭の質問に三師会の先生が回答・指導する交流会が位置づき、薬剤師会には「使用期限が切れた薬品の廃棄方法及び気をつけることはどんなことか」の質問が出されている。

④ 令和３年度～７年度　「郡三師会と養護教諭との交流会」

＜令和３年度＞

- コロナウィルス感染症のためオンラインでの総会実施となり、谷汲中央診療所の西脇健太郎先生の「学校における新型コロナウィルス感染症と子どもへのワクチン接種について」の講演を行った。
- 養教の質問に三師会の先生が回答・指導する交流会は三師会の先生に文書回答していただき、回答内容を各校の養護教諭に送付した。

＜令和４年度＞

- 講師　岐阜県眼科医会　会長　佐久間　仁　様
  「GIGA スクール構想と目の健康について、目に関する最近の話題など」（主に近視・色覚についての話）
- 令和４年度より養教から出された質問に事前に三師会の先生に文書回答していただき、それをもとに「交流会ノート」を作成して、養教に事前送付し、文書回答に目を通して上で、当日の指導を受ける現在の形にした。

＜令和５年度＞

- 講演①　講師　　揖斐郡消防本部　警防課　　救急救命士　　宇佐美　毅　様
  ・緊急時、救急車が来るまでの養護教諭としての対応（けがの場合・病気の場合）
  ・過去の事例をもとにした適切な対応と考える必要があると思えた学校の対応　等
  講演②　講師　　いびがわ診療所　　西脇　健太郎　先生
  ・救急処置で大切なこと、・救急処置の基本
  ・救急処置の実際(外科的なもの・内科的なもの)
  ・医師として養護教諭や学校に望むこと（緊急時・体制づくりなど）


R7 郡三師会と養護教諭との交流会」

＜令和６年度＞

- 講師　（岐阜県教育委員会　体育健康課　阪野　きよみ先生）
  「これからの養護教諭に求められるもの」
  ※少子化が進み、保護者の要望が強まる中での保健室経営について

＜令和７年度＞

- 講師　　西濃教育事務所　教育支援課　　課長補佐　　山田　雄一朗　先生
  「学校保健安全員会の運営の仕方や三師会・関係機関の連携について」

**（４）歯の健康優良児表彰**

＜平成２２年度＞

- ６年生児童 の男・女　各１名を歯の健康優良児として各校が推薦する。
- 郡内の小学校２０校の６年生７５１名を対象に、各校で第１次審査，男子１６名、女子１８名が第２次審査へ進み、６月末に揖斐郡教育研修センターに集め、歯科医師２名が審査をして
  最優秀賞　男子１名、女子１名　　優秀賞　男子３名、女子３名
  を選出した。
- 審査当日、優良児童の表彰及び歯科医師による講評・講話を行った。
  ※この形で令和２年度まで実施されてきた。

＜令和３年度より＞

- 令和３年度、４年度はコロナウイルス感染症のため、児童を集めて二次審査を行うことが難しかったため、各校から２名の歯の健康優良児を推薦し、推薦された児童を郡学校保健会で歯の健康優良児として認定して賞状を作成し、各校で表彰した。
- コロナウイルス感染症がおさまった後も従来の一次審査→二次審査の形は負担が大きいため、各校から２名（男女を問わない）を推薦して、歯の健康優良児としている。
- また各校の学校歯科医に歯科健診後にコメントを頂き、それを総括する形で、郡学校保健会研修総会の場で郡歯科医師会会長より講評を行っている。
- 歯の健康優良児は総会リーフレット、いびの子のからだの表彰記録への記載と郡学校保健会 HP へのアップを行っている。

**（５） 郡学校環境衛生調査**

- 郡学校環境衛生調査は一次審査（書面審査）と、一次審査で選出された優秀校を対象とした二次審査（実地審査）を行っている。
  審査員：郡薬剤師会会長、郡学校保健会担当校長、郡養護教諭部会顧問校長、郡学保事務局
- 郡学校環境衛生調査は平成１１年度より実施されており、平成１１年度～２３年度は優良校７校～１０校（特選校・努力校を含む）の表彰をしている。
- 平成２４年度～平成３０年度までは優良校５～７校（特選校を含む）の表彰を行った。
- 令和元年度よりは最優秀校１校、優秀校３～４校、特選校（前年・一昨年の最優秀校）を選出している。　※特選校は該当年度の優秀賞審査対象外となる。
- 最優秀校・優秀校は郡学校保健研修総会の場で表彰を行い、郡薬剤師会会長が全体講評をおこなっている。
- 令和２年度、令和３年度はコロナウイルス感染症のため、郡学校環境衛生調査を中止にした。

【平成２１年度（１８年前）と現在の郡学校保健会の事業を比べると】

- 平成２１年度と令和８年度の郡学校保健会の実施している事業はほぼ同じであるが、事業を単に実施するだけでなく、事業の成果や事業に参加した教職員の声をホームページや郡学校会だより等を通じて広く郡内に広めることを通して１つ１つの郡学校保健会事業の成果を上げることができてきている。

## ３　揖斐郡学校保健会組織

（１）＜平成２１年度　郡学校保健会理事＞

| 団 体 名 ・ 役 職 | 氏名 | 本会役員 | 住所・所属 |
|---|---|---|---|
| 揖斐郡 医師会　 会長 | | 会長 | |
| 揖斐郡 教育会　 会長 | | 副会長 | |
| 揖斐歯科医師会　会長 | | 副会長 | |
| 揖斐郡学校薬剤師会 会長 | | 副会長 | |
| 揖斐郡教育長会　会長 | | 副会長 | |
| 揖斐郡ＰＴＡ連合会 会長 | | 理事 | |
| 揖斐郡 小中学校長会 会長 | | 理事 | |
| 学保・保主会顧問 | | 理事 | |
| 養護教諭部会顧問 | | 理事 | |
| 揖斐郡 保健主事会　部長 | | 理事 | |
| 揖斐郡 養護教諭部会 部長 | | 理事 | |
| 揖斐郡 体育主任会　小体代表 | | 理事 | |
| 中体代表 | | 理事 | |
| 揖斐郡 栄養職員部会 部長 | | 理事 | |

| | | |
|---|---|---|
| 庶務会計 | | |
| 監事（会計監査） | | |
| | | |

部会がなくなり部会代表が輪番で理事を務める選出へ
３町教委学保担当が理事に

＜令和８年度　揖斐郡学校保健会組織＞

| 団　体　名・役　職 | | 氏　名 | 本会の役職 | 所 属 等 |
|---|---|---|---|---|
| 揖斐郡医師会 | 医師会会長 | | 会　長 | |
| 揖斐郡歯科医師会 | 歯科医師会会長 | | 副会長 | |
| 揖斐郡薬剤師会 | 薬剤師会会長 | | 副会長 | |
| 揖斐郡教育会(揖斐郡教育長会) | 教育会会長 | | 副会長 | |
| 揖斐郡ＰＴＡ連合会<br>*該当年度の郡Ｐ連会長* | 会　長 | | 理　事 | |
| 郡学保担当校長が校長会代表となる<br>*※郡小中校長会で決定* | 郡学保担当校長<br>（郡保主会担当） | | 理　事 | |
| | 郡養教部会顧問 | | 理　事 | |
| 揖斐郡保健主事会代表<br>郡保健主事会の輪番による<br>**（R8：大和小** R9:宮地小） | 代　表 | | 理　事 | |
| 揖斐郡養護教諭部会<br>養護教諭部会で決定 | 部　長 | | 理　事 | |
| 揖斐郡体育主任会<br>郡体育部会顧問校長（小島小）の学校の体育主任 | 小中体代表 | | 理　事 | |
| 揖斐郡栄養教諭部会<br>栄養教諭部会で決定 | 部　長 | | 理　事 | |
| 揖斐川町教委・学校教育課 | 学校保健担当 | | 理　事 | 郡教育会会長の町以外の町の学校教育担当（町教委で選出） |

【郡学校保健会事務局】

| | | |
|---|---|---|
| 揖斐郡学校保健会事務局 | 事務局（兼会計） | 揖斐郡教育研修センター主幹 |

【会計監査】

| | |
|---|---|
| 郡ＰＴＡ連合会会長 | 郡学校保健会担当校長 |